

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 電気化学工業株式会社
 コード番号 4061 URL <http://www.denka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 吉高 紳介
 (氏名) 大町 徹夫

TEL 03-5290-5532

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	288,836	3.0	17,400	5.5	18,374	8.2	13,853	21.2
26年3月期第3四半期	280,421	10.5	16,493	5.5	16,982	16.9	11,429	28.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 17,591百万円 (20.5%) 26年3月期第3四半期 14,596百万円 (73.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	30.20	—
26年3月期第3四半期	24.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%		円 銭	
27年3月期第3四半期	456,829		199,882		43.3		432.18	
26年3月期	431,347		189,516		43.5		402.77	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 197,892百万円 26年3月期 187,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—		
27年3月期(予想)				7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 記念配当2円00銭(創立100周年記念配当)

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	390,000	3.5	25,000	17.8	23,500	14.1	18,000	32.6	39.25	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	465,954,121 株	26年3月期	481,883,837 株
27年3月期3Q	8,056,583 株	26年3月期	15,964,265 株
27年3月期3Q	458,798,494 株	26年3月期3Q	468,091,344 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
平成27年3月期 第3四半期決算概要	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、消費増税の影響により落ち込んだ個人消費や住宅投資の低調が続いたほか、輸出も伸び悩むなど、本格的な回復には至りませんでした。また、第3四半期以降は、円安の進行や原油価格の下落の動きがありました。

このような経済環境のもと、当社グループは国内外での拡販や販売価格の是正およびコストの削減に努め、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,888億36百万円と前年同期に比べ84億15百万円(3.0%)の増収となりました。収益面では、電子・先端プロダクツ製品の販売数量増や円安メリットが、電力価格の上昇や定期修繕の実施などに伴う費用増を上回り、営業利益は174億円(前年同期比9億6百万円増、5.5%増益)、経常利益は183億74百万円(前年同期比13億92百万円増、8.2%増益)となり、四半期純利益は、事業撤退に伴う固定資産売却益を特別利益に計上したこともあり、138億53百万円(前年同期比24億24百万円増、21.2%増益)となりました。

<エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は1,250億55百万円と前年同期に比べ41億24百万円(3.4%)の増収となりました。

クロロプレンゴムは円安による手取り増加により増収となり、アセチレンブラックやデンカシンガポール社のポリスチレン樹脂等も販売数量が増加し増収となりましたが、スチレンモノマーは定期修繕を実施した影響により販売数量が減少し減収となりました。

<インフラ・無機材料部門>

当部門の売上高は356億18百万円と前年同期に比べ17億25百万円(4.6%)の減収となりました。

特殊混和材は販売数量が増加し増収となりましたが、セメントや肥料、耐火物は販売数量が減少し減収となりました。

<電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は355億87百万円と前年同期に比べ42億88百万円(13.7%)の増収となりました。

電子部品・半導体搬送資材用の機能フィルムやLED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”は販売数量が増加し増収となり、また、電子回路基板も電鉄向けを中心に販売数量を伸ばしました。

<生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は616億64百万円と前年同期に比べ12億2百万円(2.0%)の増収となりました。

医薬品では、関節機能改善剤(高分子ヒアルロン酸製剤)は薬価引き下げの影響により減収となりましたが、デンカ生研株式会社のインフルエンザワクチンや試薬の販売は堅調に推移しました。

プラスチック雨どいや工業用テープ、合繊かつら用原糸“トヨカロン”は販売数量が増加し増収となり、農業・土木用コルゲート管の販売は概ね前年同期並みとなりました。

<その他部門>

当部門の売上高は309億11百万円と前年同期に比べ5億24百万円(1.7%)の増収となりました。

株式会社アクロス商事等の商社は取扱量が前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ254億82百万円増加し4,568億29百万円となりました。流動資産は、売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べ232億円71百万円増加し1,880億18百万円となりました。固定資産は、株式市況の上昇による投資有価証券の増加などにより前連結会計年度末に比べ22億11百万円増加し2,688億11百万円となりました。

負債は、仕入債務や有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ151億15百万円増加し2,569億46百万円となりました。

少数株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ103億66百万円増加し1,998億82百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.5%から43.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、足元の原材料価格の動向を踏まえ、売上高を下表の通り見直し致します。なお、利益につきましては、変更はございません。

通期連結業績予想 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	400,000	25,000	23,500	18,000	39 25
今回修正予想 (B)	390,000	25,000	23,500	18,000	39 25
増減額 (B - A)	△10,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△2.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	376,809	21,230	20,604	13,573	29 3

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が4億90百万円減少し、利益剰余金が3億17百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(重要な事業の譲受)

当社は、三井物産株式会社（以下「三井物産」）と共同で、米国に共同出資会社Denka Performance Elastomer（以下「DPE」：出資比率 当社 70% 三井物産 30%）を設立し、DPEがE. I. du Pont de Nemours and Company（以下「DuPont社」）のクロロプレンゴム（以下「CR」）の製造・販売に関する事業を譲り受ける（以下「本買収」）ための契約を、平成26年12月9日付けでDuPont社と締結いたしました。

契約の概要は次のとおりであります。

① 本買収の目的

当社は、昭和37年（1962年）に青海工場（新潟県糸魚川市）にて独自技術（アセチレン法）でCRの製造・販売を開始し、現在では世界約80カ国に供給する最大級のCRメーカーです。

DuPont社は1931年に世界に先がけてCRを開発。現在はブタジエン法にて生産を行ない、主に北米、南米、欧州向けに供給しております。

本買収により、当社はアセチレン法の青海工場に加え、立地面で優位な北米にブタジエン法の第2生産拠点を保有することとなり、高品質で安定的な供給体制が強化され、顧客満足度の更なる向上が期待されます。

本買収は、当社の経営計画「DENKA100」新成長戦略のひとつ「生産体制の最適化」の最重要テーマであり、これにより数値目標の早期達成に向け取り組んでまいります。

② 相手企業の名称及び取得する事業の内容

名称	E. I. du Pont de Nemours and Company
取得する事業の内容	クロロプレンゴムの製造・販売に関する事業

③ 事業譲受日

本買収は所管当局の正式な承認を条件として、平成27年上半期の買収完了を目指します。

④ 買収金額

100億円から140億円を想定しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,427	9,982
受取手形及び売掛金	83,701	97,723
商品及び製品	41,989	45,447
仕掛品	2,554	2,692
原材料及び貯蔵品	18,272	18,906
繰延税金資産	1,906	1,561
その他	8,201	11,988
貸倒引当金	△305	△283
流動資産合計	164,747	188,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,835	55,046
機械装置及び運搬具(純額)	80,815	74,919
工具、器具及び備品(純額)	2,612	2,336
土地	62,796	63,176
リース資産(純額)	338	348
建設仮勘定	11,384	13,430
有形固定資産合計	211,783	209,257
無形固定資産		
特許権	567	479
ソフトウェア	542	556
その他	189	186
無形固定資産合計	1,299	1,222
投資その他の資産		
投資有価証券	46,562	52,038
長期貸付金	821	784
繰延税金資産	1,039	983
その他	5,155	4,567
貸倒引当金	△61	△43
投資その他の資産合計	53,517	58,330
固定資産合計	266,599	268,811
資産合計	431,347	456,829

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,238	62,920
短期借入金	45,501	47,895
コマーシャル・ペーパー	10,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	4,504	14,506
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	3,927	3,435
未払消費税等	445	1,540
繰延税金負債	12	1
賞与引当金	2,428	826
その他	37,586	36,075
流動負債合計	163,645	183,201
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	30,663	25,538
繰延税金負債	3,478	4,879
再評価に係る繰延税金負債	9,609	9,609
退職給付に係る負債	8,531	7,822
その他	903	896
固定負債合計	78,185	73,745
負債合計	241,831	256,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,284	49,284
利益剰余金	89,562	93,912
自己株式	△4,951	△2,633
株主資本合計	170,894	177,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,640	11,264
土地再評価差額金	9,065	9,065
為替換算調整勘定	479	1,212
退職給付に係る調整累計額	△1,422	△1,211
その他の包括利益累計額合計	16,762	20,330
少数株主持分	1,858	1,990
純資産合計	189,516	199,882
負債純資産合計	431,347	456,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	280,421	288,836
売上原価	221,977	228,290
売上総利益	58,443	60,546
販売費及び一般管理費	41,950	43,146
営業利益	16,493	17,400
営業外収益		
受取利息	54	43
受取配当金	894	1,123
持分法による投資利益	443	456
為替差益	1,563	1,885
その他	547	344
営業外収益合計	3,504	3,854
営業外費用		
支払利息	760	707
固定資産処分損	706	586
操業休止等経費	540	538
その他	1,008	1,046
営業外費用合計	3,015	2,879
経常利益	16,982	18,374
特別利益		
固定資産売却益	—	1,204
特別利益合計	—	1,204
特別損失		
固定資産売却損	281	—
特別損失合計	281	—
税金等調整前四半期純利益	16,700	19,579
法人税、住民税及び事業税	5,254	5,650
少数株主損益調整前四半期純利益	11,446	13,929
少数株主利益	17	75
四半期純利益	11,429	13,853

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,446	13,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,289	2,606
為替換算調整勘定	1,834	739
退職給付に係る調整額	—	210
持分法適用会社に対する持分相当額	26	105
その他の包括利益合計	3,150	3,661
四半期包括利益	14,596	17,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,512	17,421
少数株主に係る四半期包括利益	84	169

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため、平成26年5月9日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式の取得および消却を行っております。

(自己株式の取得)

当第3四半期連結累計期間において自己株式が28億85百万円増加しております。

(自己株式の消却)

平成26年5月14日に自己株式の消却を行い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が52億2百万円、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が52億2百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	120,931	37,344	31,298	60,461	250,035	30,386	280,421	—	280,421
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	130	—	2	25	158	4,162	4,320	(4,320)	—
計	121,061	37,344	31,300	60,487	250,193	34,548	284,741	(4,320)	280,421
セグメント 利益	2,699	3,344	1,668	8,013	15,726	724	16,451	41	16,493

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額41百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	188,026	68,549	23,845	92,395	280,421
連結売上高に占める割合(%)	67.1	24.4	8.5	32.9	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	125,055	35,618	35,587	61,664	257,925	30,911	288,836	—	288,836
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	132	1	—	4	137	4,005	4,143	(4,143)	—
計	125,188	35,619	35,587	61,668	258,063	34,916	292,980	(4,143)	288,836
セグメント 利益	2,835	2,244	4,035	7,274	16,389	945	17,334	65	17,400

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額65百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	185,831	75,639	27,365	103,005	288,836
連結売上高に占める割合(%)	64.3	26.2	9.5	35.7	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

4. 補足情報

平成27年3月期 第3四半期決算概要

平成27年2月6日
電気化学工業株式会社

1. 業績の概要

【総括】

・当第3四半期は、第2四半期比増益となりました。また、第3四半期累計では、前年同期に比べて、スチレンモノマーの隔年定修などの一時的な要因や電気代等のコストアップ、成長戦略の実施に伴う先行投資負担やその他の経費増加などのマイナス要因がありましたが、電子・先端プロダクツの需要回復や円安メリット、第3四半期からの原燃料価格の値下がりなどから、増収増益となりました。通期予想については、売上高は、原材料価格下落の影響により当初予想を下回る見込みですが、収益は、セグメントで強弱はあるものの、全体では当初予想どおりを見込んでおります。

【セグメント別状況】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、スチレンモノマーの隔年定修や電気代等のコストアップなどがありましたが、円安による輸出手取増や、原燃料価格の値下がりによる採算改善などから、前年同期比で増収増益となりました。第4四半期も、スプレッドを確保することで、通期でも前回予想を上回る収益を見込んでおります。
- ・インフラ・無機材料部門は、前年同期比で減収減益となりました。第4四半期は特殊混和材のほかセメント等も出荷増となるものの、通期では前回予想を下回る収益となる見込みです。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、全般的に需要の回復を受け、機能フィルムや蛍光体、電子回路基板の販売が増加し、前年同期比で増収増益となりました。第4四半期もこれらの製品の好調が続くことにより、通期でも前回予想を上回る収益を見込んでおります。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、健康分野製品の関節機能改善剤が一時的な要因で減収となったため、前年同期比で減益となりました。インフルエンザ関連製品はほぼ前年並の出荷となりましたが、通期では前回予想を下回る収益となる見込みです。

【業績】

(単位:億円)

	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成26年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	増 減
売上高	2,888	2,804	84
営業利益	174	165	9
経常利益	184	170	14
当期純利益	139	114	24

	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)	平成26年3月期 年度実績 (4-3月)
	3,900	3,768
	250	212
	235	206
	180	136

2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

		平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成26年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	増 減
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	1,251	1,209	41
	営業利益	28	27	1
インフラ・ 無機材料	売上高	356	373	△ 17
	営業利益	22	33	△ 11
電子・先端 プロダクツ	売上高	356	313	43
	営業利益	40	17	24
生活・環境 プロダクツ	売上高	617	605	12
	営業利益	73	80	△ 7
その他	売上高	309	304	5
	営業利益	9	7	2
消去差	売上高	-	-	-
	営業利益	1	0	0
合 計	売上高	2,888	2,804	84
	営業利益	174	165	9

	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)	平成26年3月期 年度実績 (4-3月)
	1,650	1,665
	50	40
	500	496
	30	40
	500	421
	60	27
	800	780
	100	95
	450	406
	10	10
	-	-
	-	1
	3,900	3,768
	250	212

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)			平成26年3月期 第3四半期実績 (4-12月)		増 減	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)		平成26年3月期 年度実績 (4-3月)	
設備投資額	142	181		△ 39			230	257		
減価償却費	172	168		4			230	223		
研究開発費	83	81		2			113	108		
有利子負債残高	1,289	1,221		68			1,230	1,207		

	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)			平成26年3月期 第3四半期実績 (4-12月)		増 減	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)		平成26年3月期 年度実績 (4-3月)	
為替レート [円/\$]	106.9	99.4					110.0	100.2		
国産ナフサ [円/kl]	68,600	65,800					63,300	67,300		

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成26年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	増 減	増 減	
				販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	1,251	1,209	41	32	9
インフラ・無機材料	356	373	△ 17	2	△ 19
電子・先端プロダクツ	356	313	43	△ 5	48
生活・環境プロダクツ	617	605	12	5	7
そ の 他	309	304	5	-	5
合 計	2,888	2,804	84	34	50

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成26年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	増 減	増 減		
				販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	28	27	1	32	4	△ 35
インフラ・無機材料	22	33	△ 11	2	△ 6	△ 7
電子・先端プロダクツ	40	17	24	△ 5	39	△ 11
生活・環境プロダクツ	73	80	△ 7	5	2	△ 15
そ の 他	9	7	2	0	3	△ 0
消 去 差	1	0	0	-	-	0
合 計	174	165	9	34	42	△ 67